

令和3年度 事業計画

【公益目的事業1】

植村直己の業績についての展示公開に関する事業(定款第4条第1号事業関係)

(1) 植村冒険館の管理運営

① 植村冒険館の運営及び施設管理

【移転前】 (令和3年8月29日(日)閉館予定)

所在地 東京都板橋区蓮根2-21-5

展示室 76.6㎡

情報コーナー 42.7㎡

開館時間 午前10時～午後6時(祝日を除く月曜及び年末年始休館)

入館料 無料

【移転後】 (令和3年12月18日(土)リニューアルオープン予定)

所在地 東京都板橋区加賀1-10-5(区立東板橋体育館内)

1階/ウエムラチャレンジベース(企画展示・図書コーナー) 67.0㎡

3階/常設展示・企画展示 216.0㎡

開館時間 同上

入館料 1階/ウエムラチャレンジベース 無料
(企画展示・図書コーナー)

3階/常設展示・企画展示 有料

入館料(基本料金)

おとな(15歳以上)	子ども(15歳未満)
200円	60円

※ 別途、無料・減額(団体割含む)・免除の制度あり

※ 令和4年1月6日(木)より有料開始予定

② 情報(図書)コーナー資料収集整備

ア 冒険、登山及びアウトドア活動の専門図書の閲覧・貸出し及び関連書籍等の整備充実を図る

・図書の閲覧・貸出し(移転後:1階・3階)

・図書の購入 60冊

・雑誌、博物館資料

イ 山岳団体、登山愛好グループ及び野外活動団体等が発行する情報誌や活動記録の収集・保存(参考:令和元年度40団体、310部)

③ 広報と情報の発信

ア 植村冒険館機関誌「通信 植村冒険館 ADVENTURE FORUM」の発行

・年1回 4,000部 作成

イ 事業内容や参加案内の周知、施設の情報をホームページに公開

④ 新植村冒険館への移転等

ア 移転に伴う準備・移転作業

イ 「東板橋体育館」と「植村冒険館」とのグランドオープン記念講演会

・令和3年12月18日(土)実施予定

⑤ その他の事業

- ア 来館者、メディア等への情報提供(取材・問い合わせの対応)
- イ 植村冒険館友の会の活動支援
- ウ 関連施設との情報交換(豊岡市植村直己冒険館、帯広野外学校、日本山岳会、全国山岳博物館等連絡会議・国立極地研究所ほか)
- エ 地域との連携

(2) 資料収集・保存及び調査・研究

① 資料収集・保存

- ・関係資料の収集・保存
- ・令和元年度末現在 1,860点(設立時1,604点)

② 調査研究

- ア 遺品の調査研究
 - ・装備等の使用場所の確認と記録
- イ 活動に関する調査
 - ・植村直己の活動状況の調査及び記録整理
- ウ 展示開催に必要な関連情報の調査
 - ・企画展開催のための現地調査、冒険・登山・極地等関連情報の収集
- エ 関係者からのインタビュー記録作成(ビデオ撮影等)

(3) 展示公開

① 企画展示の開催

	内 容	期 間	会 場
継続	メモリアル展 山頂に残された旗	令和3年1月22日 ～4月13日	《蓮根》 植村冒険館 展示室
1	冒険家・植村直己 単独行とセルフタイマー *最後の企画展	4月23日 ～8月29日	植村冒険館 展示室
2	植村直己「たったひとりの山」 1970年マッキンリー単独登頂 *最初の企画展 (企画展示室では、ひとつの冒険に焦点を当てた企画展を開催)	12月18日 ～令和4年5月31日	《加賀》 植村冒険館 1階チャレンジベ ース 3階展示室内

② 常設展示(3階)【令和3年12月18日～】

- コンセプト：今も「ここ」にいる植村直己
～植村直己の挑戦から現在の人々に「チャレンジスピリット」を訴求し、
共感と未来へのアクションを創出する～
- ・三つの「ここ」
 - ①「冒険館」にいるかのような存在感
 - ②「板橋区」だからこそ身近さ
 - ③「現在」から感じる価値

- ③ 植村冒険館以外で行う写真展等
- ア 板橋区立八ヶ岳荘「植村直己展示室」、榛名林間学園、赤塚体育館
・ 通年（継続展示）
 - イ 区内施設での出張展示（小茂根図書館／時期未定・2週間程度）
 - ウ 区内小中学校での出張展示（学校との連携により年2校程度）
- ④ 夏休み自由研究向け「地球たんけんパスポート」発行 1,000部
展示の内容に関するクイズ形式の解答用紙（パスポート）を発行
・ 対象：小学生

【定款第4条第1号事業 予算の概要】

（単位：千円）

事業項目		予算額	前年度予算額	増減
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		35,248	31,790	3,458
内 訳	(1) 冒険館の管理運営	31,205	23,910	7,295
	(2) 資料収集・保存及び調査・研究	952	1,159	△207
	(3) 展示公開	3,091	6,721	△3,630
	(4) 周年記念事業	0	0	0

※予備費・周年記念事業経費を除く。

【公益目的事業2】

自然への関心を高めるための実体験事業（定款第4条第2号事業関係）

(1) 自然塾の実施（小・中・高校生対象の実体験事業）

「ウエムラ・スピリット」に基づく、小・中・高校生（その保護者）を対象に、冒険的な実体験事業を実施することで、困難を克服するチャレンジ精神や、自然を大切にす豊かな心を醸成する。

ア 事業回数 4回 参加予定人数 116人

イ 内 容

親子プログラム冒険トレック、神津島キャンプ（もしくはイカダアドベンチャーキャンプ）、オーバーナイトウォーキング、クロスカントリー

(2) アドベンチャー講座等の実施

① アドベンチャー講座

成人を対象とした自然体験（登山）講座を実施し、自然の中における活動の場を提供することで、自然との関わり方を体得する機会とする。

ア 事業回数 2回 参加予定人数 48人

イ 内 容

金時山、白馬岳登山

② やさしい日帰り登山講座

初心者（小学生以上を対象）でもやさしく登れる低山を選定し、実践を通じて登山の基礎知識やマナーを習得してもらう。都会では味わえない登山の楽しさや魅力に気づき・発見し、継続的に登山をしてもらうための機会を提供する。

ア 事業回数 1回 参加予定人数 20人

イ 内 容

大山（阿夫利神社）登山 1,252m

【定款第4条第2号事業 予算の概要】

（単位：千円）

事業項目	予算額	前年度予算額	増減
自然の中での実体験事業	6,118	12,340	△6,222
内 (1) 自然塾	4,675	10,111	△5,436
訳 (2) アドベンチャー講座等	1,443	2,229	△786

※予備費を除く。

【収益事業等】

その他の事業1

その他、目的を達成するために必要な事業（定款第4条第3号事業関係）

（1）関連物品販売事業

来館者の記念品・土産として図書やDVD、アウトドアグッズ等を販売する。

【定款第4条第3号事業 予算の概要】

（単位：千円）

事業項目	予算額	前年度予算額	増減
関連物品販売事業	2,607	2,119	488